

事業名	代表者所属	岡山大学大学院環境学研究科
09KJ-014	代表者	准教授 難波 和彦
岡山大学公開講座 「果物のおいしさのひみつをさぐれ」	開催地	岡山県
活動概要	助成金額	10万円
<p>日時：2009年8月25日と26日の13:00～17:00  場所：岡山大学農学部講義室および農場(果樹園)  対象：小学校低学年～中学生  参加者(人)：13人                    内訳(生徒;13人)  内容：計画通り、農場で収穫したブドウを、それぞれが糖度を計測し、色情報等との関連性について考察をし、発表してもらった。</p>		



4種類のブドウから  
未熟なものと適熟なものを選んで計測しました



計測風景です



成果を発表してもらいました



数多くのすばらしい考察がなされました

## 事業の目的・ねらい

21 年度岡山大学公開講座の中で、農学部は「果物のおいしさのひみつをさがれ」と題して夏休み中の岡山市内小学校高学年から中学生を対象として、科学体験事業を開催する。

生徒の理科離れが頻繁に話題となっているが、一つの要因は実際の現象と学習内容がなかなか一致しないことが考えられる。そこで、本講座では身近な題材である食物、特に果物について、そもそも果物とは何か、どのようにして成熟していくのか、成熟していくと味はどう変化していくのか、おいしいとは一体どういう事なのかを、実物の分析を交えながら体感してもらい、自然科学に対する興味をかき立ててもらうことを目的とした。自然科学の基本は観察であり、そこからなぜなのだろうという疑問を持つことである。本講義では受講者がこの視点を持てるよう工夫した。

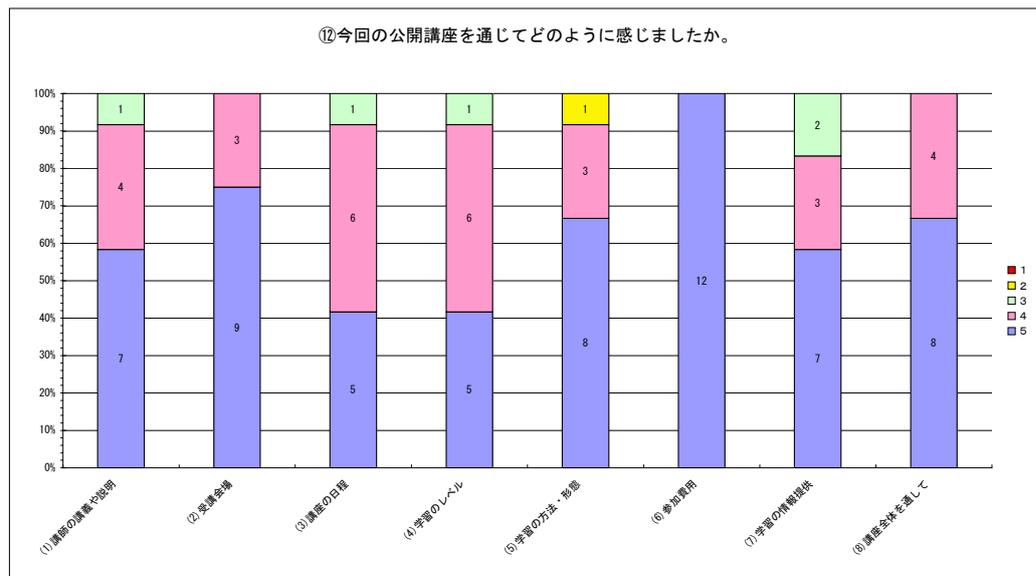
## 事業の概要

小学校高学年から中学生を対象として、果物とは何か、どのようにして花から果物になっていくのか、どのような味をおいしいと思うのか、それを測る手段はあるのか、などについて、講義、ほ場での収穫、試食や、糖度、酸度、硬度、色情報の計測などを交えながらの体験学習を 2 日間にわたって開催した。以下に当日配付資料の目次をあげる。1～4 を初日の 8 月 25 に、5～8 を 2 日目の 26 日に実施した。

目次	
1. 果物ってなんだろう？	4. その果物はおいしいですか？
(1) 野菜と果物の違いってなんだろう？	試食しておいしさを体感
(2) 果樹と果菜	5. 糖度、酸度、硬さを測ろう
(3) 果物と動物	物理量を測定
2. 果物になるまで	6. 味との関係
(1) 何の花でしょう？	官能検査で測定
(2) 花がさいてふくらんで	7. 色を測ろう
(3) どこを食べているのでしょうか？	非破壊検査のための情報入力
3. 果物はどんなふうになっているのかな？	8. おいしさを予測しよう
岡山大学附属山陽圏フィールド科学センターの農場で収穫体験	総合討論

## 成果・効果

盛りだくさんの内容であったが、受講生からは概ね好評を頂いた。しかし、小学生と中学生が混在している中での講義の組み立てには課題を残した。自由研究



を意識して、なるべく考える時間を多く取るようにしたのであるが、小学生にはややハードルが高すぎた様である。また、夏休み後半の開講としたがやや受講生が少なく、開催時期や告知方法も検討する必要がある。講座終了後に行ったアンケートの総合評価では、5 点満点で 4.6 点であった。